

秋山としゆき 市政レポート

生涯を
市民のために!

Vol.7
冬季号

令和3年1月1日
発行



発行: 秋山としゆき事務所 住所: 〒183-0015 府中市清水が丘2-1-13 アローハイツA

令和3年新春のご挨拶

平成31年4月の府中市議会議員選挙で、多くの方々のご支援により議席を頂いてからもうすぐ2年を迎えます。現在までのご支援ご指導にあためまして、深く感謝を申し上げます。

この期間、市政施行以来初めてとなる台風19号による避難勧告の発令や新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、府中市議会で起きました公契約関係競売入札妨害による議員の逮捕などがあり、あらためて議員としての役割を再認識する経験をさせていただきました。

秋山としゆきは初心より、『スポーツタウン府中の推進で健康長寿社会の実現』『地域防災力の向上』『子どもたちが郷土に誇りをもてる街づくり』の3つの政策を中心に活動してまいりましたが、今後も、行政に対して政策提言をし、市民の生命財産を守るべく災害に強い街づくりの推進に取り組んでまいります。

これからも府中市民の皆様の声を行政へと届けていくために、感謝の気持ちを忘れず活動を続けてまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

府中市議会議員 秋山としゆき



高野律雄市長とともに、新型コロナウイルス感染症対策に、引き続き全力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大 第3波の中で、暮らしや仕事のことなどで心配事をお持ちの方
お困りの方は、ぜひ秋山としゆきまでご連絡ください。

これまででも多くのご相談をいただいております。
誠心誠意、ご相談に応じます。

秋山としゆき
ホットライン

携帯電話 080-4609-0724

E-mail fuchu104@gmail.com

議会報告① 令和2年第4回定例会 一般質問 (議事録からの抜粋・要約)

東京2020オリンピック・パラリンピックにて本市が競技会場となる

自転車ロードレースをレガシーとして 「スポーツタウン府中」をさらに推進!

現在、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、東京2020オリンピック・パラリンピック開催の可否については、慎重に判断されることと思っておりますが、市内のサイクル資源を活かして、自転車ロードレースのレガシーを創出することが必要と考えます。武蔵野の森公園をスタートして10km、市内などを駆け抜ける男子自転車ロードレースは五輪の華と言われており、開会式後の最初の決勝種目になるのが通例と聞いています。公道で行われる競技であるため、開催国をPRする役割があり、けやき並木や大國魂神社など府中市を代表する観光資源が世界中に発信されます。市内2カ所のスタート地点と10kmのパレードコースを活用し、サイクリストの聖地として発信していく取り組みが必要だと考え、主に次の質問をさせていただきました。

●感染者が急増している中のサイクルイベント開催は難しいと思うが、市民の皆様が親子で参加する親子サイクルイベントや、自転車に乗れない子どもが練習をしながら楽しめるイベントなどは、屋外で行われるため密にならず、時期を見極めて開催が可能ではないか。

●今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極め、大人から子どもまで参加できる観光サイクルイベントの開催について研究・検討中です。

●市内パレードコースをレガシーコースとして活用し、新たなサイクルイベントを開催する考えは。また市内にサイクリングコースを設定し、観戦ポイントや市内の観光名所をマップに落とし作成すると、パレードコース開催市として魅力を発信できるのではないか。

(答弁)
●ロードレースコースを観光資源にして活用する事業を今後実施予定です。
●地元の魅力を取り入れた「TOKYO TAMAまちめぐりマップ」を作成、配架しています。
●独自に開発中のサイクルマップアプリで、ロードレースにちなんだコースや市内の観光スポットを周遊し、本市の魅力を体験できる4コースを配信予定です。



橋本聖子 東京オリンピック・パラリンピック大臣と意見交換
東京2020オリンピック・パラリンピックを安全・安心に成功させ、さらに「スポーツタウン府中」を推進していくために、国ともしっかりと連携してまいります!

府中市手話言語条例制定に向けて

平成18年に採択された国連の障害者権利条約で、手話は正式に「言語」と明記され、ろう者が聴者と平等に社会参画できるシステムの構築を目指そうとするようになり、各地でろう者から教育現場への手話導入の訴えが起り、文部科学省は2009年の学習指導要領の改定で初めて、ろう学校のコミュニケーション手段として手話を明記しました。

東京都では23区のうち13の自治体が条例の制定をしていますが、市町村ではいまだに制定されていません。このような状況を踏まえて、次の質問をさせていただきました。答弁をいただきました。

●手話言語条例制定に向けての市の考えについて。

(答弁) 今後も障害の特性に配慮した手段を検討し、言語としての手話の普及と障害のある方との意思疎通の促進を目的とする条例の制定について、先進事例の取り組みを参考に検討していきます。

●聴覚障害者の方が来庁された際、曜日に関係なく日常的に意思疎通支援を円滑にするための取り組みについて。

(答弁) 障害のある方との意思疎通の方法などを研究し、手話通訳者の効果的な配置方法や、ICTなどの技術の活用で、合理的に利用しやすい意思疎通が行える環境について検討中です。

●聴覚障害者の皆様が、安全に避難していただくための、避難所内での情報伝達や意思疎通の取り組みについて。

(答弁) 障害者支援事業者にアンケート調査を実施しており、詳細な情報把握に努め、できる限り安心して避難所で過ごしていただけるよう対応策を検討していきます。

(要望)

来庁された際の対応としては、手話通訳者の効果的な配置や、ICT技術の活用は有効と考えられるので、全庁的な環境整備に取り組んでいただきたい。また、避難所での対応としては情報伝達的手段として、ホワイトボードの設置を要望します。障害のある方が地域社会の中で、安心して過ごせるよう、手話言語条例制定を通じて、手話の普及啓発を進めていただくことを要望しました。

議会報告③ 令和2年第4回定例会 一般質問

(議事録からの抜粋要約)

府中市民球場の積極的な活用について

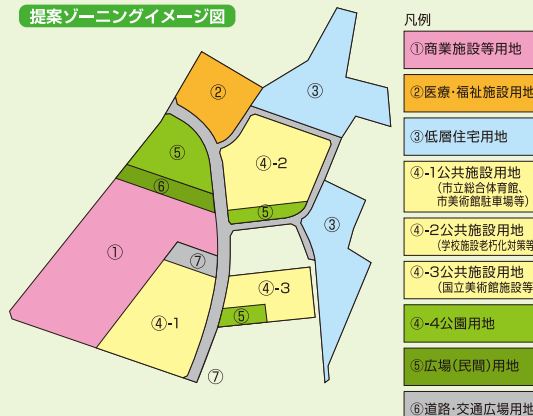
本市は全国的に見てもスポーツ資源が多く、これだけのトップチームがある地域は少ないと思います。しかし、それを活かす競技場やアリーナがないのが現状だと認識しています。一方で、既存の施設には、市内の少年野球チームがプレーすることを目標

府中基地跡地留保地の利用計画について

府中基地跡地留保地を「スポーツタウン府中」の新たな発信の場に！

府中基地跡地留保地は、浅間町一丁目にある国が所有している土地で、かつて米軍基地の一部として使われていました。米軍基地の大部分は昭和50年に返還され、約15.5ha(東京ドーム約3.5個分)が「留保地」として、現在も使われていない状態となっています。平成20年に国立医薬品食品衛生研究所及び国家公務員宿舎の移転を前提とした利用計画を策定し、国へ提出しました。両施設の移転計画が中止となったことから、平成27年度以降、改めて留保地利用の方向性について検討を開始し、検討協議会の設置や市民ワークショップなどで検討を進め、「府中基地跡地留保地利用計画」を策定し国へ提出しました。

提案ゾーニングイメージ図



出典：府中市ホームページより

市としては、総合体育館の移転や学校施設用地としての活用を計画しています。私も初当選以来、基地等跡地対策特別委員会に所属しております。この地域に生まれ育った者として、この整備計画に積極的に取り組んでまいります。12月の特別委員会においても、自転車ロードレースのレガシー創出やアリーナの整備による市内トップリーグとの連携で、スポーツタウン府中の新たな発信の場となるよう要望しました。

新型コロナウイルス関連

府中市医師会にご提案させていただいたPCR検査バスは現在も稼働しています！



医療従事者の皆様の感染リスクを徹底的に排除することを目的としたこの医療バスは、2020年5月下旬から府中市の多摩総合医療センター敷地内で稼働を始め、現在も市内医療従事者の皆様によって日々検査業務にあたっています。

PCR検査を受診するまでの流れ



秋山としゆき活動スナップ



通学路見守りパトロール



駅前での朝のゴミ拾い

市政についてのご相談は、お気軽に秋山としゆきまでご連絡ください！

秋山としゆき事務所

〒183-0015 府中市清水が丘2-1-13 アローハイツA
FAX 042-302-2238 E-mail fuchu104@gmail.com

携帯電話 080-4609-0724

秋山としゆきの活動はこちらへ

秋山としゆき 検索

HP <http://akiyama-toshiyuki.net/>

